

地方創生加速化交付金 平成28年度事業評価表

《空き家等の活用でまちをイノベーションする「Machinnovation(まちノベーション)」モデル事業》 (総合戦略 基本目標4)

事業概要	モータリゼーション社会となり、「せこ(狭い道)」が多い旧市街地では、半田の歴史を思い起こすまちなみが残っている一方で、空き家空き店舗が増加している。こうした状況に対し地元も危機感を感じ、我がまちを何とかしたいという機運も芽生えており、若者や「よそ者」とコラボしたまちおこしの会では空き家等の利活用について、定期的な話し合いを行っている。本事業は、空き家のリノベーションの実現にあたり、ネックとなっていた改修費と初期投資費用に対して補助を行うことで、地元や若者たちの熱意を後押しする。
交付対象事業	<ul style="list-style-type: none"> ■基本目標4-Ⅱ-③ ・空き家等の活用でまちをイノベーションする「Machinnovation(まちノベーション)」モデル事業【建築課】地域の活性化につながる空き家等対策事業を提案する市民団体のモデル事業に対して補助を行った。
事業費 (交付決定額)	36,500,000円(36,500,000円) ※交付率10/10

交付金対象事業の当初値と実績値等

No.	指標	27年度 当初値	28年度 実績値(目標値)	30年度 目標値
①	モデル地区における空き家等の活用件数(平成28年度以降の累計)	0件	10件 (10件)	13件
②	本事業における地元住民の参画者数	0人	8人 (10人)	15人

有識者による効果検証

外部組織による本事業の評価	①	選択肢 (2択) <ul style="list-style-type: none"> ①地方版総合戦略のKPI達成に有効であった ②地方版総合戦略のKPI達成に有効とは言えない
---------------	---	--